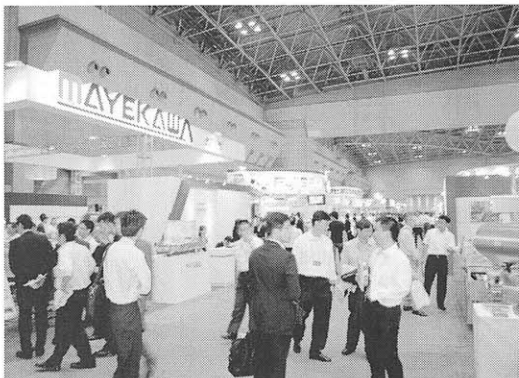


FOOMA 冷食関連の新型機目白押し

小型フリーザーの提案目立つ

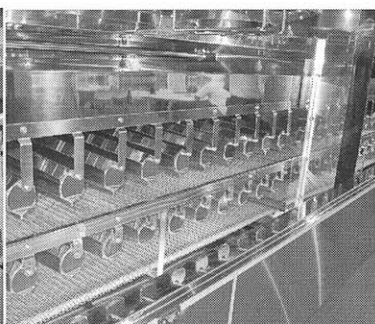
食品機器と加工技術の見本市FOOMA(国際食品工業展)が東京レックサイトで7~10日開催され、多くの新型機種が登場した。4日間の来場者は8万9813人(うち海外来場者6933人)。昨年の10万2651人に比べ1割減り震災の影響が大きく出た形だが、節電のため終了時間を従来の5時から1時間早めたこともあり、会場内の人口密度はむしろ例年以上に感じられるなど賑わいを見せた。来年は6月5~8日に開催する。



4日間で約9万人が来場した



高橋工業はスーパーマーケット向けに、急速冷凍方式は大型フリーザーとほとんど変わらない。東洋製機工業のスーパーカ



高橋工業はスーパーマーケット向けに、急速冷凍方式は大型フリーザーとほとんど変わらない。東洋製機工業のスーパーカ



東洋製機工業のスーパーカ

倉庫の扉の冷気漏れや食品工場の温度管理・防虫対策に使われているが、震災後の節電需要増大で、機密性の高い同社のシートシャッターに対する問い合わせが増えたという。昨年発売した新機種はサイドフレームやシートの巻き取り部分に機構構造を採用しているのはもちろん、エアタイトシール(オプショナル)の併用で従来比18倍という業界トップクラスの機密性を実現した。

スチールシャッターと比べると、旧型のシートシャッターでもエネルギーロスが半分ほど。さらに新型のO型(高気密仕様、ECO型)はさらに省エネ。運転、起動センサーEタイプのエネルギードロスが10分の1以下になる。ECO型は初出された。食材をすりつぶすのではなく、非常に細かくカットして乳化させることができる。ソーセージなどの製造や、冷食関連ではハンバーグ、メンチなどの品質アップ、歩留まりの向上に威力を発揮する。

最大の特色は非接触式の縦型カッティングシステム。回転する刃が他の金属部品と接触しないため、かな運転音、洗浄性のよさ、メンテナンスの楽、食材を投入するホッパーは標準で1500回転開きで、底に位置するカッティングヘッドを簡単に露出させるためヘッドの交換や洗浄性も抜群。ホッパーは転倒する瞬間に機械が停止する。材料の流れが中断した場合もカッティングシステムを保護するために停止する。処理前と処理後の温度はそれぞれデジタル表示し、品質管理も容易な設計となっている。

冷凍食品関係で見られた一つの傾向が小型フリーザーの提案が複数あったこと。パッケージ化による装置コストの削減や、地域の特産品フリーザーなどが背景にある。

東洋製作所は既存の「サーモウェブタッシュ」フリーザーの小型版を提案した。組立て済みなので、食品工場での据付工事が不要。量産型でコストも抑えることができ、運搬や据付工事費も安価に設定できる。凍結能力は付随する冷凍機の能力によって決まるが、大体時間当たり200~300kgのニーズを想定。

「水産物などをネットや通販市場向けに少量生産する小規模なニーズが結構でている」(同社)という。前川製作所が出品した「フリスティックフリーザー」も既存のスチールベルトフリーザーを現地組み立て不要の一体搬入型に改良したタイプ。昨年夏から発売し、ベトナムなどに輸出した。時間当たり500kgほどの能力。

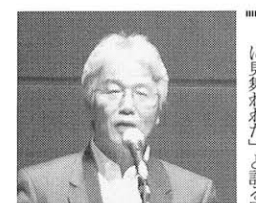
「40フィートコンテナにそのまま入る上に、すぐ使える。日本でも小規模の水産加工業者が導入しており、国内ニーズも期待できることと出品した(同社)。いずれもスリットを使って、ニーズに対応して開発した。

節電に人気のシートシャッターは小松電産製の新型シートシャッター「門番Gシリーズ」等を出品した。節電対策のために導入する企業が増えているという。シートシャッターは冷蔵

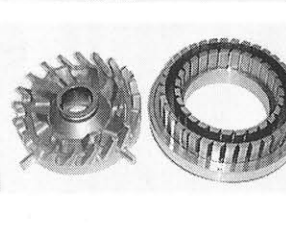
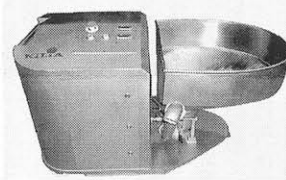
「門番Gシリーズ」は冷気漏れ防止に効果的。従来のシートシャッターと比べて、旧型のシートシャッターでもエネルギーロスが半分ほど。さらに新型のO型(高気密仕様、ECO型)はさらに省エネ。運転、起動センサーEタイプのエネルギードロスが10分の1以下になる。ECO型は初出された。食材をすりつぶすのではなく、非常に細かくカットして乳化させることができる。ソーセージなどの製造や、冷食関連ではハンバーグ、メンチなどの品質アップ、歩留まりの向上に威力を発揮する。

「門番Gシリーズ」は冷気漏れ防止に効果的。従来のシートシャッターと比べて、旧型のシートシャッターでもエネルギーロスが半分ほど。さらに新型のO型(高気密仕様、ECO型)はさらに省エネ。運転、起動センサーEタイプのエネルギードロスが10分の1以下になる。ECO型は初出された。食材をすりつぶすのではなく、非常に細かくカットして乳化させることができる。ソーセージなどの製造や、冷食関連ではハンバーグ、メンチなどの品質アップ、歩留まりの向上に威力を発揮する。

「門番Gシリーズ」は冷気漏れ防止に効果的。従来のシートシャッターと比べて、旧型のシートシャッターでもエネルギーロスが半分ほど。さらに新型のO型(高気密仕様、ECO型)はさらに省エネ。運転、起動センサーEタイプのエネルギードロスが10分の1以下になる。ECO型は初出された。食材をすりつぶすのではなく、非常に細かくカットして乳化させることができる。ソーセージなどの製造や、冷食関連ではハンバーグ、メンチなどの品質アップ、歩留まりの向上に威力を発揮する。



吉野家安 3回の危
FOOMAが今年かした新企画「ビジネスラム」で吉野家ホールディングスの安部修二社長が「これまでに3回に見舞われた」と語る。



タカミが扱うドイツ製の新型装置「エマルジョンファインカット3000」とそのカッティングヘッド